



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月3日

上場会社名 株式会社ヤマタネ 上場取引所 東  
 コード番号 9305 URL <http://www.yamatane.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永友 保則  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部経理部長 (氏名) 土屋 修 (TEL) 03-3820-1111  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	13,961	9.5	825	0.3	567	△0.4	55	△71.7
24年3月期第1四半期	12,754	△4.7	822	9.1	569	20.0	195	44.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △64百万円(—%) 24年3月期第1四半期 246百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	0.52	—
24年3月期第1四半期	1.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	90,135	21,743	22.5	191.10
24年3月期	88,140	22,276	23.6	195.95

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 20,311百万円 24年3月期 20,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	1.6	1,800	△2.5	1,200	△6.9	300	△41.9	2.82
通期	52,900	3.1	3,900	7.4	2,800	10.9	1,200	7.7	11.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	113,441,816株	24年3月期	113,441,816株
25年3月期1Q	7,155,707株	24年3月期	7,154,492株
25年3月期1Q	106,286,179株	24年3月期1Q	106,290,559株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ①当第1四半期の概況

当第1四半期の経営成績は、食品部門において販売単価の大幅な上昇等により増収となった結果、売上高は139億61百万円（前年同期比9.5%増）となりました。営業利益は物流、情報、不動産の各部門において堅調に推移し増益となりましたが、のれんの償却額の増加による減益要因もあり8億25百万円（同0.3%増）となり、経常利益は5億67百万円（同0.4%減）となりました。四半期純利益は投資有価証券評価損や特別退職金等の特別損失の増加等により55百万円（同71.7%減）となりました。

#### ②セグメント別の概況

##### <物流部門>

物流部門では、売上高は一部荷主の解約等の要因により47億62百万円（前年同期比1.0%減）となりましたが、営業利益は採算性の向上に努め、さらには不動産賃貸料等の増加もあり7億27百万円（同11.6%増）となりました。

##### <食品部門>

食品部門では、量販・外食向けである精米販売は19千玄米トン（前年同期比7.4%増）と増加しましたが、一般小売店や他卸売業者向けである玄米販売は9千玄米トン（同16.5%減）と減少し、総販売数量は28千玄米トン（同1.7%減）となりました。売上高は精米販売の増加と販売単価の上昇により80億57百万円（前年同期比18.9%増）となりましたが、営業利益は仕入価格の上昇による販売差益の減少の影響から1億3百万円（同12.6%減）となりました。

##### <情報部門>

情報部門では、棚卸用ハンディターミナルのレンタル業務において主要顧客による利用台数および棚卸回数の減少等の要因から売上高は2億66百万円（前年同期比12.9%減）となり、営業損益は49百万円の損失（前年同期は85百万円の損失）となりました。

情報部門では棚卸用ハンディターミナルのレンタル業務及び棚卸代行業務を主力事業と位置付けておりますが、当該業務には季節変動要因があるため、第2、第4四半期に売上・利益とも増加する傾向にあります。

##### <不動産部門>

不動産部門では、引続き厳しい状況にはあるものの、「ヤマタネビル新館」が稼働したこともあり、売上高は7億87百万円（前年同期比7.4%増）となり、営業利益は3億31百万円（同6.9%増）となりました。

##### <金融・証券部門>

金融・証券部門では、証券市場の市況低迷の影響により、売上高は88百万円（前年同期比31.6%減）と減少し、営業損益は41百万円の損失（前年同期は41百万円の損失）となりました。なお、連結子会社であります金山証券株式会社は、平成24年7月1日に金融商品取引業を廃止し、商号を金山株式会社に変更いたしました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産

資産合計は、現金及び預金や有形固定資産が増加したこと等から、前連結会計年度末比19億94百万円増加し、901億35百万円となりました。

#### ②負債

負債合計は、有利子負債が増加したこと等から、前連結会計年度末比25億27百万円増加し、683億91百万円となりました。

#### ③純資産

純資産合計は、配当金の支払いにより利益剰余金が減少し、その他有価証券評価差額金も減少したこと等から、前連結会計年度末比5億33百万円減少し、217億43百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期におきましては、平成24年産米の動向が食品部門の収益に影響を及ぼす可能性があります。平成24年5月11日発表の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,332	4,659
受取手形及び売掛金	6,417	6,302
たな卸資産	1,958	1,597
その他	1,526	1,076
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	12,232	13,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,559	15,510
土地	46,457	46,383
その他(純額)	8,557	6,583
有形固定資産合計	67,574	68,477
無形固定資産		
投資その他の資産	1,597	1,559
投資その他の資産	6,391	6,153
貸倒引当金	△84	△93
投資その他の資産合計	6,306	6,060
固定資産合計	75,478	76,096
繰延資産	429	404
資産合計	88,140	90,135
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	2,440	1,667
短期借入金	8,543	11,068
1年内返済予定の長期借入金	2,846	2,021
1年内償還予定の社債	2,184	2,184
その他	2,916	3,556
流動負債合計	18,930	20,498
固定負債		
社債	22,366	22,366
長期借入金	11,772	12,562
退職給付引当金	1,815	1,717
役員退職慰労引当金	157	111
環境対策引当金	121	121
その他	10,697	11,011
固定負債合計	46,932	47,891
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	1	1
特別法上の準備金合計	1	1
負債合計	65,863	68,391

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,555	10,555
資本剰余金	3,775	3,775
利益剰余金	5,722	5,459
自己株式	△1,810	△1,810
株主資本合計	18,243	17,979
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	730	478
土地再評価差額金	1,852	1,852
その他の包括利益累計額合計	2,583	2,331
少数株主持分	1,449	1,432
純資産合計	22,276	21,743
負債純資産合計	88,140	90,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業収益	12,754	13,961
営業原価	11,080	12,209
営業総利益	1,674	1,752
販売費及び一般管理費	852	927
営業利益	822	825
営業外収益		
受取配当金	49	46
その他	7	6
営業外収益合計	56	53
営業外費用		
支払利息	285	274
その他	23	36
営業外費用合計	309	310
経常利益	569	567
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
固定資産売却益	2	0
金融商品取引責任準備金戻入	1	—
未払費用戻入額	7	—
その他	0	—
特別利益合計	11	1
特別損失		
投資有価証券評価損	—	40
特別退職金	10	41
その他	1	16
特別損失合計	11	97
税金等調整前四半期純利益	568	470
法人税等	320	269
少数株主損益調整前四半期純利益	247	201
少数株主利益	52	146
四半期純利益	195	55



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	247	201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△266
その他の包括利益合計	△1	△266
四半期包括利益	246	△64
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	194	△196
少数株主に係る四半期包括利益	51	132

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連	金融・証券 関連			
売上高 外部顧客への 売上高	4,810	6,776	306	732	128	12,754	—	12,754
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	146	—	48	6	0	201	△201	—
計	4,956	6,776	354	739	128	12,956	△201	12,754
セグメント利益 又は損失(△)	651	118	△85	309	△41	952	△129	822

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△133百万円及び未実現利益調整額3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連	金融・証券 関連			
売上高 外部顧客への 売上高	4,762	8,057	266	787	88	13,961	—	13,961
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	144	—	55	4	—	205	△205	—
計	4,906	8,057	322	791	88	14,167	△205	13,961
セグメント利益 又は損失(△)	727	103	△49	331	△41	1,071	△245	825

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△148百万円、のれんの償却額△101百万円及び未実現利益調整額3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。